

## 第36回 病態生化学セミナー

日時：平成22年11月9日（火曜日）午後6時00分～

場所：医学部 看護学科棟21番講義室

演題：non-coding RNAを介したヘテロクロマチンの動態制御機構

"Regulation of heterochromatin dynamics through non-coding RNA"

演者：北海道大学 先端生命科学研究院 教授

村上 洋太 先生

ヒストンH3K9のメチル化とそれを認識するHP1ファミリータンパク質により規定される構成的ヘテロクロマチンはトランスポゾン・反復配列といったジャンクDNAの上に形成され、「不活性」なクロマチン構造と思われてきた。しかし、最近の解析結果は、ヘテロクロマチンが想像以上にダイナミックな構造体で、RNAi機構を初めとする複雑な制御を受けていることや、染色体分配にも深く関与することがわかってきた。我々は分裂酵母をモデルシステムとしてこのヘテロクロマチンの構造と機能の制御機構の解析をすすめているが、特にヘテロクロマチン内で転写されるnon-coding RNAを中心としたヘテロクロマチンの制御機構についての最新の知見を紹介する。【村上洋太】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp